

《コウノトリでつながる自然再生》

関東エコロジカル・ネットワーク 10周年シンポジウムを野田市で開催

～新たなペアの成立を願い「ミライ」を多摩動物公園に移送も実施～

野田市では、生物多様性のシンボルとしてコウノトリを位置づけ、自然と共生する地域づくりに取り組む中で、関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省関東地方整備局）にも参加し、多様な主体との広域連携も進めている。

同推進協議会は、平成25年に設立され、市同様、コウノトリをシンボルとし、河川や水田等の生物多様性の価値やグリーンインフラとしての防災・減災の機能に注目し、水辺環境の保全・整備や地域振興等を通じた魅力的な地域づくりを目指している。

市において、水辺の生態系の頂点に立つコウノトリを、平成27年から令和5年までに17羽放鳥したことで、関東の複数箇所で飛来滞在が確認でき、令和2年には、野田市放鳥個体が、渡良瀬遊水地でペアとなり繁殖したことから、関東地域におけるエコロジカル・ネットワークの形成が進んできたことが証明された。

このような中で、11月23日（木）に、同推進協議会主催で「関東エコロジカル・ネットワーク10周年シンポジウム」が野田市役所で開催される。

シンポジウムは、これまでの取組や成果を振り返り、今後のエコロジカル・ネットワークによる地域づくりの展望について語り合い、思いを共有する場として開催される。

また、野田市では、現在、「コウくん」「コウちゃん」ペアの他に、メスの幼鳥「サクラ（10歳）」と「ミライ（9歳）」を飼育している。

これまで、「コウくん」「コウちゃん」ペアからふ化した幼鳥の放鳥を実施してきたが、昨年及び今年は、メスの「コウちゃん」が28歳ということもあり産卵を確認することができなかった。なお、放鳥については、IPPM-OWS（コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル）と協議し、遺伝的多様性に配慮し、托卵で実施している。

このような状況から、「コウくん」「コウちゃん」ペアの後継として、新規ペアを飼育し繁殖等を実施したいと考え、「ミライ」を多摩動物公園（東京都日野市）へ移送し、ペアリングをお願いすることとした。

現在、環境省の手続き中であり、審査を終えたら、10月4日（水）に移送したいと考えている。

※ 移送が完了したら、改めて報告を予定している。

●「関東エコロジカル・ネットワーク10周年シンポジウム」の概要

日時：令和5年11月23日（木）午後1時30分から午後4時10分

※野田市このとりの里にてサブイベントを同日開催

場所：野田市役所8階大会議室

定員：200名（事前申込み制・先着順） ※オンライン視聴あり

料金：無料

問合せ・申込み先：シンポジウム締切 11月16日（木）

サブイベント締切 10月31日（火）

（公財）日本生態系協会 関東エコ・ネット係（国土交通省 関東地方整備局 事業受託者）

[メール] 2023kanto-econet@ecosys.or.jp

[FAX] 048-649-3859

その他、詳細は別添関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省関東地方整備局）による報道発表資料（令和5年9月15日）のとおり

●コウノトリ移送の概要

1 個体の概要

愛称 ミライ

性別 メス

生年月日 2014年（平成26年）5月7日生まれ 9歳

国際血統登録番号 1180

2 移送予定日 令和5年10月4日（水）

搬出時の撮影はできませんので、ご了承ください

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・電話（代表）04-7125-1111（内線2692）

野 田 市